

# 令和 1 年度事業報告書

公益財団法人徳川黎明会

## I. 管理部門

### 1. 業務執行体制

業務執行体制においては、本年度、業務執行理事（常務理事）の退任に伴う交代があり、引き続き、新たな体制で、円滑な法人事業活動を推進すべく、徳川美術館、徳川林政史研究所との連携・協調・協力に努め、全般を統括した。期末には、新型コロナウイルスの世界的蔓延により、国内でも未曾有の感染拡大があり、各事業所を含め、法人としての対策・対応に追われた。

### 2. 諸制度・諸規程見直し

従業員の労働環境改善のため、諸制度・諸規程の見直し・改定を継続的に進めてきたが、本年度は、従業員就業規則、育児介護休業規程の改定、定年退職者再雇用規程の新設を実施した。引き続き、政府による働き方改革も踏まえ、さらなる整備を進める予定である。

### 3. 募金活動

前年度同様、徳川美術館、徳川林政史研究所と連携し、活動支援基金を広く募った。また、従来の寄附受付制度や管理運用体制を見直し、改善すべく検討を経たものの、履行が遅れているため、寄附者にとって寄附しやすい案内・環境構築の早期実現に努める。

### 4. 監事監査

令和1年度会計・業務監査について、下記のとおり執り行われた。

日時： 令和2年10月7日/14時00分より

場所： 当財団/本部会議室

対象： 会計、業務、理事の職務執行

### 5. 理事会・評議員会

#### (1) 理事会

##### ・ 第1回（定時）

日時： 令和1年6月11日/14時00分から15時47分まで

場所： 当財団/本部会議室

議案： 第1号議案/平成30年度事業報告について

第2号議案/平成30年度収支決算について

第3号議案/令和1年度定時評議員会開催について

第4号議案/理事の辞任に伴う後任者の補充選任について

第5号議案/相談役の選任について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

##### ・ 第2回（臨時）

日時： 令和1年6月26日

議案： 第1号議案/決議の省略について

第2号議案/業務執行理事（常務理事）の選定について

第3号議案/決議日について

結果： 全議案について、理事一同異議なく議決された（書面によるみなし決議）。

##### ・ 第3回（臨時）

日時： 令和1年11月30日

議案： 第1号議案/決議の省略について

第2号議案/業務執行理事（常務理事）の役員報酬について

第3号議案／決議日について

結果： 全議案について、理事一同異議なく議決された（書面によるみなし決議）。

・ 第4回（定時）

日時： 令和2年3月25日／14時00分から15時18分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第1号議案／令和2年度事業計画について

第2号議案／令和2年度収支予算について

第3号議案／令和2年度資金調達及び設備投資について

結果： 全議案について、出席理事一同異議なく議決された。

(2) 評議員会

・ 第1回（定時）

日時： 令和1年6月26日／14時00分より16時01分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第1号議案／平成30年度収支決算について

第2号議案／任期満了に伴う評議員の改選について

第3号議案／理事の辞任に伴う後任者の補充選任について

結果： 全議案について、出席評議員一同異議なく議決された。

6. 官庁申請・届出・報告

・ 内閣府関係

下記について、電子申請システム（公益 Information システム）経由にて提出・報告した。

令和1年6月 平成30年度事業報告および収支決算

令和2年3月 令和2年度事業計画および収支予算

・ 労務関係

下記について、池袋労働基準監督署および名古屋北労働基準監督署に届出た。

令和1年11月 従業員就業規則、育児・介護休業規程・定年退職者再雇用規程

令和2年3月 36協定書

7. 役職員等の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 役員等

評議員6名、役員8名、相談役2名、合計16名

① 評議員

職位	氏名	現職
評議員会長	田中 秀隆	(公財)三徳庵理事長
評議員	太田 宏次	(公財)東洋医学研究財団名誉理事長
評議員	小林 喬	富国生命保険(相)相談役
評議員	濱本 英輔	(株)ハーフ・センチュリー・モア顧問
評議員	原 俊夫	(公財)アルカンシエール美術財団理事長
評議員	室瀬 和美	(株)目白漆芸文化財研究所相談役

② 理事

職位	氏名	現職
代表理事（会長）	徳川 義崇	徳川美術館館長・八雲産業(株)代表取締役
常務理事	深井 雅海	徳川林政史研究所副所長
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役

理事	小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
理事	徳川 斉正	(公財)徳川ミュージアム理事長
理事	前田 利祐	(公財)前田育徳会評議員

③ 監事

職位	氏名	現職
監事	降旗 京二	降旗公認会計士事務所所長
監事	松平 頼昌	(学)本郷学園理事長

④ 相談役

職位	氏名	現職
相談役	竹内 順一	東京藝術大学名誉教授
相談役	竹田 憲央	八雲産業(株)常務取締役兼総務部長

(2) 職員等

区分	常勤	非常勤	計
職員	22	1	23
雇員	4	0	4
嘱託	1	5	6
臨時	0	23	23
派遣	1	0	1
合計	28	29	57

(3) 協力者等

区分	常勤	非常勤	計
参与	0	8	8
特任研究員	0	15	15
非常勤研究員	0	9	9
非常勤研究生	0	7	7
非常勤学芸員	0	3	3
合計	0	42	42

## II.公益事業

### [公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

本年度事業計画に基づき、徳川美術館においては、展示事業として、下掲の通り、本館展示室において5件の特別展、蓬左文庫展示室において6件の企画展（本館での特別展の一部としたもの2件を含む）を実施すると共に、新館名品コレクション展示室での通常展示及び特集展示、特別公開等を実施した。また、什宝保存・修理事業としては、引き続き、「国宝 源氏物語絵巻」および「国宝 初音の調度」の修理を国庫等からの助成を得て実施した。美術館事業全体の運営としては、令和2年1月まで順調な推移をみていたものの、同2月以降は、新型コロナウイルスによる感染症の拡大による影響を受け、同月29日（土）より3月13日（金）まで、臨時休館をせざるを得ないところとなり、その後、同月23日（月）まで休館期間を延長した。同24日（火）より、感染予防対策を講じた上で、蓬左文庫展示室を除き、本館展示室（「尾張徳川家の雛まつり」特別展）及び新館展示室での展示公開を再開したが、4月7日（火）の政府による緊急事態宣言の発出を受け、翌8日（水）より、再び臨時休館（5月11日（月）まで）を行うこととなり、その後、これを当面の間延長するに至っている。令和1年度については、入館者数が予定した205,000名を上回る結果となったものの、令和2年度の美術館事業については、感染症をめぐる状況如何により、相当程度の影響を受けざるを得ないことが見込まれる状況にある。

#### 1. 美術品の展示・公開・保存・修理・収集

##### (1) 展示・公開

以下の展示・公開を行った。これにより、①②③に記載した展示による令和1年度の来館者数合計は206,291名となった。

##### ① 名品コレクション展示室（新館第1～第5展示室）

「名品コレクション展」として年間に4回の大展示替えを行ったほか、約1か月毎に部分展示替えを実施した。特別展・企画展開催期間を除く新館展示室のみの開館日の来館者数は17,516名であった。

期間

- |                    |                  |                   |
|--------------------|------------------|-------------------|
| 1 (a. 6月26日～4月23日  | b. 4月24日～5月21日   | c. 5月22日～6月16日)   |
| 2 (a. 6月18日～7月15日  | b. 7月17日～8月18日   | c. 8月20日～9月16日)   |
| 3 (a. 9月18日～10月16日 | b. 10月17日～11月10日 | c. 11月12日～12月15日) |
| 4 (a. 1月4日～2月2日    | b. 2月4日～3月3日     | c. 3月4日～3月29日)    |

このうち、期間2c.において、ICOM KYOTO 2019 記念として「桃山の名画」の特集展示（第5展示室）を行い、期間4a.において、「国宝 初音の調度」の特別公開（第5展示室）を行った。この他、「国宝 源氏物語絵巻 柏木三・宿木一」（11月23日～12月1日、第5展示室）及び「千利休 泪の茶杓」（2月22日～3月3日、第2展示室。なお、2月29日からは臨時休館措置により中止）の特別公開を行った。なお、第6展示室では年度を通じ「国宝 源氏物語絵巻（複製）」及び同絵巻の解説（動画映像を含む）を展示した。

##### ② 特別展・企画展（本館第7～第9展示室）

以下の特別展を開催した。各展覧会の来館者数は下掲の通りであり、特別展への来館者数合計は166,557名となった。

- |               |  |
|---------------|--|
| a. 4月14日～6月2日 | 特別展「徳川将軍ゆかりの名刀」<br>中日新聞社、日本経済新聞社共催<br>来館者数計 58,778名              |
| b. 7月27日～9月8日 | 夏季特別展「合戦図—もののふたちの勇姿を描く—」<br>名古屋市蓬左文庫共催展、読売新聞社共催<br>来館者数計 28,669名 |

- c. 9月15日～11月10日 秋季特別展「殿さまとやきものー尾張徳川家の名品ー」  
名古屋市蓬左文庫共催展、中日新聞社、日本経済新聞社共催  
来館者数計 34,012名
- d. 11月16日～1月31日 特別展「良寛さん その人と書」  
毎日新聞社共催  
来館者数計 32,340名
- e. 2月8日～4月5日 特別展「尾張徳川家の雛まつり」  
中日新聞社共催  
来館者数計 12,758名(3月31日まで)、13,629名(4月5日まで)  
(但し、2月29日～3月23日は臨時休館)

③ 特別展・企画展(名古屋市蓬左文庫展示室)

名古屋市との協力の下、以下の特別展・企画展を行った。これらのうち、b.以外の各展覧会は上掲② a.～f.と同時開催のため、来館者数は同一である。

- a. 4月14日～6月2日 ご即位記念 企画展「雅を伝えるー宮廷と文化ー」
- b. 6月8日～7月21日 企画展「裂の美」  
来館者数計 22,218名
- c. 7月27日～9月8日 夏季特別展「合戦図ーもののふたちの勇姿を描くー」  
上記②b.の一部として実施)
- d. 9月15日～11月10日 秋季特別展「殿さまとやきものー尾張徳川家の名品ー」  
上記②c.の一部として実施)
- e. 11月16日～1月31日 企画展「奏でるー楽器と調べー」
- f. 2月8日～4月5日 企画展「いつだって Kawaii 大好き」(但し、2月29日以降は蓬左文庫展示室が休室となったため終了)

④ 特別観覧

以下の特別観覧を実施した。

- a. 徳川茶会(茶室餘芳軒および山の茶屋、全9回9日間、参加者 2,224名)  
10月13日,14日,19日,20日,26日,27日、11月2日,3日,4日
- b. 研究者等特別観覧(美術館収蔵庫、全30件)  
大学等学術・研究機関、外部美術館等からの要請に応じ、特別観覧を実施した。

⑤ 他館主催展覧会への収蔵品出陳

他館主催の展覧会に対し、東京富士美術館「サムライ・ダンディズム 刀と印籠ー武士のこだわり」展(4月2日～6月30日)、サントリー美術館「遊びの流儀 遊楽図の系譜」展(6月26日～8月18日)など合計16館、のべ58件の収蔵品を出陳した。

⑥ 館外展示

令和1年度は、秋田市立千秋美術館に収蔵品111件を出陳し、秋田市制130年・秋田市立千秋美術館開館30周年記念「徳川美術館名品展 尾張徳川家の至宝」を実施した。(7月20日～9月1日)

⑦ 他館ほか所蔵者からの借用作品展示

各特別展・企画展をテーマに即し、合計291件の作品を借用し、展示した。

(2) 保存・修理・収集

以下の各項目を実施した。

① 保存・収集

- a. 購入  
徳川秀忠黒印状 瀧川豊前守(忠征)宛三月廿五日 一通 等 普通美術品計4点
- b. 受贈  
福祿寿図 徳川綱吉筆 一幅、象牙能面 内田祐康作 五面、雛道具・雛飾り 五揃 等

普通美術品計 11 点

② 修理

以下の修理を実施した。

a. 基本美術品（計 3 件）

- ・ 国宝 源氏物語絵巻 「横笛」・「竹河（一）」・「橋姫」・「宿木（二）」

国宝重要文化財等保存・活用事業費（国庫補助美術工芸品保存修理事業）および文化財保存事業費（愛知県文化財保存事業）による修理（平成 28 年度より 4 か年継続）

- ・ 国宝 婚礼調度類 徳川光友夫人千代姫所用（「初音調度」）

見台 二基、旅香具箱 一合、書棚（棚囲い・龍膽七宝繫） 一基

国宝重要文化財等保存・活用事業費（国庫補助美術工芸品保存修理事業）および文化財保存事業費（愛知県文化財保存事業）による修理、および（公財）住友財団による文化財維持・修復事業助成による修理。

- ・ 脇指（薙刀直シ） 銘 吉光 名物 鯰尾藤四郎 一振

b. 普通美術品（計 1 件）

瓢釜 加賀前田家伝来・岡谷家寄贈 一口

(3) 収蔵品撮影（館内）

各展覧会のための広報用及び図録作成に必要な撮影を合計 94 件 169 カット分行った。また、徳川茶会参加者向けの作品紹介ビデオ（19 点分）を作成した。

2. 調査・研究

(1) 美術館における調査・研究

事業計画に基づき、学芸部において、以下の研究を行った（括弧内は開始年度）。

- ①館蔵品悉皆調査（昭和 63 年度）、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化（平成 27 年度）、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査（昭和 58 年度）、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査（平成 20 年度）、⑤徳川将軍家と尾張徳川家の研究（平成 19 年度）、⑥戦国合戦図の総合的研究（平成 20 年度）<sup>※1</sup>、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究（平成 6 年度）、⑧尾張における画家の活動について一田中訥言を中心に一（平成 11 年度）、⑨武家女性の生活史の研究（平成 29 年度）、⑩日蘭貿易に関する舶載陶磁器と倭国産陶磁器の研究（令和 1 年度）、⑪中近世「唐物」に関する工芸品の研究（令和 1 年度）、⑫尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について（平成 8 年度）⑬渡来織物の調査研究（平成 29 年度）、⑭近世狩野派の研究（平成 24 年度）、⑮戦国合戦図の総合的研究（平成 28 年度）<sup>※1</sup>、⑯江戸初期絵画の研究（平成 24 年度）、⑰尾張徳川家伝来「裂」類の研究（平成 28 年度）、⑱愛知県における仏教絵画の研究（平成 25 年度）、⑲高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究（平成 30 年度）<sup>※2</sup>、⑳近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究（平成 29 年度）<sup>※3</sup>

※1 東京大学史料編纂所特定共同研究

※2 科学研究費助成事業（奈良国立博物館主任研究事業）の分担研究者として

※3 科学研究費助成事業（東京国立博物館主任研究事業）の分担研究者として

(2) 徳川林政史研究所との連携による研究（前年度より継続）

① 以下の各項の研究を引き続き行った。

- ・ 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ・ 尾張徳川家関連古写真資料に関する基礎調査・研究

② 歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川林政史研究所研究員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

(3) 収蔵品データベースの整備（前年度より継続）

以下の各項を継続実施した。

- ・ 調書作成・入力

- ・ 写真データ作成・入力
- ・ 展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力
- ・ リスト・キャプションの作成

(4) 研究用図書類の整備

① 図書（購入計 67 冊、受贈計 523 冊）

以下の書籍等を購入した。

『名物裂事典（CD-ROM 付き）』（鈴木時代裂研究所）、『仏教説話画論集 上巻』（加須屋誠著／中央公論美術出版）、『李公麟 五馬図』（板倉聖哲編／羽鳥書店）、『永青文庫叢書 細川家文書 島原・天草一揆編』（吉川弘文館）などの他、『史料纂集 古記録編』（八木書店）、『大日本史料』（東京大学出版会）ほか

以下の書籍等を受贈した。

『河合正朝絵画史論集 上巻』（河合正朝著／中央公論美術出版）、『良寛遺墨集—その人と書』第一巻～第三巻、東京大学史料編纂所より東京大学出版会発行の史料ほか

② 雑誌（購入計 195 冊、受贈多数）

以下の雑誌を購入した。

『國華』（國華編集委員会編／國華社）、『美術フォーラム 21』（美術フォーラム刊行会）、『日本人形玩具学会誌』（日本人形玩具学会）、『貿易陶磁研究』（日本貿易陶磁研究会）ほか

以下の雑誌を受贈した。

『茶道の研究』（大日本茶道学会／三徳庵）、『美術研究』（東京文化財研究所）、『MUSEUM』（東京国立博物館）、『茶の湯文化学』（茶の湯文化学会）ほか

(5) 研究成果の公開・公刊

以下の通り、研究成果を公開・公刊した。

① 定期研究発表会

7月7日（第75回）「本多平八郎姿絵屏風を読み解く」 吉川美穂（学芸員・マネージャー）  
なお、予定していた他の1回は臨時休館措置により延期した。

② 図録、研究紀要等

a. 特別展図録作成

ア. 特別展「徳川将軍ゆかりの名刀」 音声ガイドテキストブック

イ. 企画展「裂の美」 簡易リーフレット

ウ. 夏季特別展「合戦図—もののふたちの勇姿を描く—」 図録

エ. 秋季特別展「殿さまとやきもの—尾張徳川家の名品—」 図録

オ. 特別展「没後 190 年記念 良寛さん その人と書」 簡易図録

なお、展覧会毎に内容を紹介する英文リーフレットを作成し、配布した。

b. 外部提携図録

秋田市立千秋美術館「徳川美術館名品展 尾張徳川家の至宝」 図録

c. 金鯪叢書第 47 輯の編集・刊行

(6) 美術館だより「葵」の編集・発行（年度内 4 回）

4、7、9、1月に「葵」第 110～113 号を編集・発行した。

(7) 大名道具収蔵館研究会（平成 4 年度より継続）

引き続き下掲の研究会に参加した。

10月28日 第26回研究会（於、高知県立高知城歴史博物館）

3. 教育・普及

以下、(1)～(23)の各項の教育・普及事業を実施した。

(1) 記念講演会

- 4月21日 将軍と大名家との「刀剣贈答」 深井 雅海（徳川林政史研究所副所長）  
 5月26日 近代皇室と染織・装束の文化 田中 潤 氏（学習院大学非常勤講師）  
 9月15日 名物が意味するもの－尾張家伝来の茶道具にふれて－  
 竹内 順一 氏（東京藝術大学名誉教授）  
 10月3日 河井寛次郎の青年期を振り返って・京都市陶磁器試験場における研究活動  
 佐藤 一信 氏（愛知県陶磁美術館学芸課長）  
 11月16日 良寛さん－その人と書 小島 正芳 氏（良寛研究家・全国良寛会副会長）  
 11月28日 柏木の恋－猫が乱した運命の糸－ 奥山 景布子 氏（小説家）  
 2月22日 利休の栄光と挫折 田中 仙堂 氏（大日本茶道学会会長）

(2) 記念講座

- 7月28日 公開シンポジウム「大坂冬の陣図屏風、これまでとこれから」  
 北川 央 氏（大阪城天守閣館長）  
 千田 嘉博 氏（城郭考古学者）  
 平 諭一郎 氏（東京藝術大学特任准教授）  
 木下 悠 氏（凸版印刷株式会社文化事業推進本部）  
 薄田 大輔（当館学芸員）  
 8月18日 記念講座「合戦を科学する」 本郷 和人 氏（東京大学史料編纂所教授）  
 8月24日 シンポジウム「中世から戦国の合戦図をめぐる」  
 中根 千絵 氏（愛知県立大学教授）  
 出口 久徳 氏（立教大学兼任講師）  
 井上 泰至 氏（防衛大学校教授）  
 原 史彦（学芸部部長代理）  
 薄田 大輔（学芸員）

(3) 土曜講座「大名の生活と文化」（各講座の講師は学芸員および非常勤学芸員）

- 4月27日 「江戸時代の宮廷文化」  
 5月18日 「徳川将軍家と尾張徳川家」  
 6月8日 「尾張徳川家と裂」  
 8月3日 「文化財を守るということ－徳川美術館の美術品疎開－」  
 8月31日 「戦国合戦図の製作背景」  
 10月5日 「尾張徳川家伝来の青磁－中近世「唐物」の視点から－」  
 11月30日 「王朝物語の絵画化」  
 1月18日 「尾張徳川家伝来の楽器」  
 2月15日 「ちいさい、かわいい「ひみな」の文化史」

なお、3月14日「蔵帳にみる尾張徳川家の道具管理－刀剣を中心に－」は臨時休館措置のため延期した。

(4) 秋期講座「尾張徳川家と海外陶磁」

- 9月21日 「日本伝来の中国青磁－出土品との比較と生産地－」  
 森 達也 氏（沖縄県立芸術大学教授）  
 9月21日 「尾張徳川家伝来の天目」 小林 仁 氏（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理）  
 9月22日 「徳川将軍家の器－朝鮮通信使がもたらした器と高麗茶碗－」  
 片山 まび 氏（東京藝術大学教授）  
 9月22日 「＜阿蘭陀焼＞を考える－船載ヨーロッパ陶磁と倣国産陶磁器－」  
 長久 智子（学芸員・マネージャー）

(5) 徳川林政史研究所による古文書入門講座「文化・文政期の社会」（土曜日午後開講）

- 6月15日 「化政文化と葛飾北斎－江戸と名古屋と－」 大石 学（参与）

- 6月22日「将軍家斉弟田安斉匡の戸山邸御成」 深井 雅海 (副所長)
- 6月29日「幕府御用材をめぐる材木商の活動ー尾州白鳥の中村屋七兵衛と飛驒高山の田中屋半十郎ー」  
萱場 真仁 (非常勤研究員)
- 7月6日「徳川斉朝の庭園世界」 白根 孝胤 (特任研究員)
- 7月13日「尾張の名産とおつきあいー礼物軌式を読む(1)ー」  
藤田 英昭 (研究員)
- 7月20日「尾張の名産とおつきあいー礼物軌式を読む(2)ー」  
藤田 英昭 (研究員)
- (6) 徳川林政史研究所による江戸学講座「大奥再発見」(土曜日午後開講)
- 12月7日「江戸城大奥の構造」 深井 雅海 (副所長)
- 1月11日「大奥老女 姉小路の政治力」 深井 雅海 (副所長)
- 1月25日「尾張徳川家の姫君 千代姫と松姫」 白根 孝胤 (特任研究員)
- 2月8日「知られざる天璋院篤姫」 藤田 英昭 (研究員)
- (7) 刀剣講座 (日曜日午後開講)
- 4月14日「刀の見どころー一宮 真清田神社の宝刀を通してー」  
福井 款彦 氏 (真清田神社刀剣保存会)
- 5月12日「日本刀の研磨ーその工程と目的ー」 松村 壯太郎 氏 (美術刀剣研師)
- (8) ギャラリー・トーク  
各特別展・企画展ごとに各担当学芸員による展示解説を合計9回行ったほか、「良寛さん その人と書」  
展開催期間中に小島正芳氏 (全国良寛会副会長) による展示解説を2回実施した。
- (9) 特別展・企画展関連企画
- ① 特別展「徳川将軍ゆかりの名刀」関連
- a. 刀剣を中心とする音声ガイド (4月14日～6月2日) を導入
- b. ゴールデン・ウィーク特別企画として「武将と刀 記念撮影コーナー」を実施 (5月1日～5日)
- ② 企画展「奏でる」関連
- a. 「尺八の調べー古今の楽器とその調べー」解説と演奏 (11月17日)
- b. 「能の囃子の調べー大名たちに愛された音楽ー」解説と演奏 (1月19日)
- ③ 特別公開「国宝 源氏物語絵巻 柏木 (三)・宿木 (一)」関連
- a. コラボ展示「工芸で読む源氏物語ー花九つ凜と光りて」 (11月26日～12月1日)
- b. 凜九による講演会「若手女性職人が語る 伝統工芸の今」 (11月30日)
- c. オペラ「月の影ー源氏物語ー」プレコンサート (12月1日)
- ④ 特別展「良寛さん その人と書」関連
- a. 新春揮毫 (1月4日) 安藤 豊邨 氏 (毎日書道会評議員)
- b. 東海毎日新春書展 (1月4日～1月31日)
- ⑤ 特別展「尾張徳川家の雛まつり」関連
- a. 文化のみち雛巡りスタンプラリー (2月8日～3月8日)
- b. オリジナル香袋・文香をつくる (2月16日)
- c. コラボ展示「工芸で愛でる雛まつりー凜と華やぐ九つの雛ー」 (2月20日～2月26日)
- d. 雛まつり満喫プラン (2月26日、なお、3月1日及び3日の回は臨時休館措置により中止)
- e. 子どもと一緒に雛まつりツアー (2月27日)
- なお、予定した十二単着装公開は臨時休館措置により中止した。
- (10) 組香体験 (個人向け)
- 6月27日・29日・30日 企画展「裂の美」展関連企画「和の香りを楽しむ 組香ー空蟬香ー」
- 1月10日・11日・19日 新春企画「和の香りを楽しむ 組香ー松竹梅香ー」
- (11) 土曜子ども教室の開催 (小中学生向け教育・普及、※土曜日の小中高生の観覧料は無料)

① 土曜子ども教室

4月6日～3月29日(44日間、なお2月29日、3月8日、15日、22日の回は臨時休館措置により中止)毎週土曜日、1日3回、各約60分、小学校・中学校の児童及び生徒を対象に実施、美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、名品コレクション展示室で展示解説を実施

参加者計1,062名(子ども671名、大人391名)

② 体験学習・校外学習の受け入れ

a. 体験学習(貝あわせ、刀解体組立、火縄銃に触れる、甲冑着装、子ども出世すごろく等を体験後、館内を見学)

小学校2校(参加者計124名)、中学校4校(参加者計415名)、高校3校(参加者計130名)、大学法人8校(留学生含む)(参加者計134名)、団体3件(参加者計41名)

b. 校外学習(美術館紹介と作品解説)

小学校1校(参加者計12名)、中学校8校(参加者計82名)、大学2校(参加者計90名)、団体1件(参加者計15名)

c. 出張教室

名古屋市視覚障害者協会、参加者計12名

(12) 夏休み子ども特別企画(8月1日～9月1日)

ギャラリー・クイズ(参加者計1,650名)、小・中学生の歴史教室「合戦図を楽しむ」(参加者計933名)、歴史文化体験教室「遊んで作ろう貝あわせ」(参加者計489名)、自由研究(8月11日、12日参加者計38名)を開催。名古屋市立小学校および中学校などにポスター(500枚)を配布。

(13) 名刀スタンプラリー 5.(4)②に記載

(14) 中高生・大学生の職場体験の受け入れ(インターンシップ)

① 職場体験(中学校1校6名、高校1校2名、教諭3名を受け入れ)

② 職場訪問(中学校2校、参加者計12名を受け入れ)

(15) 博物館実習の受け入れ(11月19日～11月23日 学生9名参加)

(16) 古美術相談会(原則として、毎月第1土曜日の午後開催(本年度2回開催)、相談件数計3件、その他、写真郵送等による相談件数計19件)

(17) 名曲講座

スヴェトリン・ルセフ氏(バイオリン)、アンリ・ドゥマルケット氏(チェロ)、浦久俊彦氏によるコンサートを3月7日に予定したが、臨時休館措置により延期した。

(18) 館外見学会の実施

第61回「遠江・徳川家ゆかりの地を巡る一満光寺・方広寺・本興寺・中村家」(11月27日、参加者37名)なお、第62回「伊勢・徳川家ゆかりの地を巡る一青巖寺・専修寺・東海道関宿」(3月17日)を予定したが、臨時休館措置により中止した。

(19) ボランティア研修・交流

① 名古屋東照宮での研修(4月17日、参加12名)

② 名古屋市博物館ボランティアとの交流(9月28日、参加39名)

③ 名古屋市博物館 常設展・特別展見学と交流(10月29日、参加17名)

(20) 館長講演活動

① 「文化を守る 曾祖父・徳川義親の信念」(4月15日)於 NHK文化センター青山教室

② 「文化を守る」(7月20日)於 秋田市立千秋美術館

(21) 出講・受嘱

① 出講

学芸員計6名が合計8の大学、合計8の博物館・文化センターほかの講座等に出講した。

② 受嘱

学芸部員計 5 名が文化庁、愛知県、大学等計 8 件の専門委員、研究員等の委嘱を受け、委嘱業務を遂行した。

(22) 協賛事業

- ① 第 98 回名古屋市文化史教室（事業提携）  
夏休み子ども歴史教室を名古屋市と共催
- ② 各種スタンプラリーの実施（5.(4)②に記載）
  - a. 「文化のみち雛めぐりスタンプラリー」
  - b. 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

(23) 後援名義付与

チャン・ビン二胡演奏会（4月7日、於蓬左文庫前広場）

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ

(1) 賛助会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

- ・ 1年間の無料入館
- ・ 企画展・特別展内覧会を開催
- ・ 各企画展・特別展の開催日前日に賛助会員内覧会を開催（図録がある場合は無料配布）
- ・ 美術館日より「葵」および各種印刷物の配布
- ・ 特別鑑賞会および懇親会の開催（11月11日）
- ・ 見学会（国内の史跡・特別展等）の実施
- ・ 茶会、ショップ商品等の割引
- ・ 他館との連携による各々の会員向け相互観覧料割引（五島美術館ほか4館）

本年度の会員数推移は以下のとおりとなった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
個人	117	19	17	119	+2
家族	17	1	2	16	▲1
法人	53	2	4	51	▲2
合計	187	22	23	186	▲1

(2) 友の会会員向け優待

以下の各項の優待を引き続き行った。

- ・ 美術館日より「葵」および各種印刷物の配布
- ・ 一般会員向け1年間の無料入館制度（ただし、従来特別展の観覧は1回目のみ無料、2回目以降は一般料金を適用してきたところ、平成18年4月以降は、2回目以降の観覧について割引料金（団体料金）を適用している。）
- ・ 一般会員向けのショップでの割引
- ・ 他館との連携による各々の会員向け相互観覧料割引（前掲(1)と同じ）

本年度の会員数推移は以下のとおりとなった。

種別	前期末	今期入会	今期退会	今期末	前期対比
一般	540	280	124	696	+156
情報	17	12	6	23	+6
合計	557	292	130	719	162

※ 一般会員のうち、17名が半期入会（4,400円）の会員

(3) 大学メンバーシップ会員向け優待

- ・ 対象大学の学生（一部対象大学は教職員も含む）の無料入館

- 対象大学への展覧会ポスター・ちらし、イベント案内等の配布、掲示
- 本年度、名古屋教育大学が学生・教職員ともに新規加盟、また、中西学園の系列校が追加登録されたため、年度末の加盟校が5校追加され、以下の33校となった。

愛知学院大学、愛知学院大学短期大学部、愛知学院大学歯科技工専門学校、愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、桜花学園大学、名古屋短期大学、金城学院大学※、椋山女学園大学※、中京大学、中部大学、東海学園大学、同朋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋外国語大学、名古屋芸術大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学、名古屋造形大学、名古屋大学、名古屋文化短期大学、名古屋ファッションビューティー専門学校、南山大学、名城大学※、名古屋教育大学、菱野幼稚園、名古屋ファッション専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋製菓専門学校

※ 印以外の大学法人等は教職員も加入

## 5. 管理

### (1) 観覧料金

前売りペアチケットの導入

団体（20名以上）料金適用に至らない人数のグループに対しても、前売りでの一括購入の場合には、割引料金を適用することによって、来館者向けサービス提供と誘致を行うこととし、適用対象とする特別展を「徳川将軍ゆかりの名刀」、「殿さまとやきものー尾張徳川家の名品ー」（以上2件は、名古屋市蓬左文庫との共催展）、及び「尾張徳川家の雛まつり」として、会期前の一定期間、チケットぴあ、コンビニエンスストアで2枚2,300円（1枚分1,150円）のチケットを販売することとした。

### (2) ゴールデン・ウィーク及びお盆時期の月曜日開館

以下の連休中の月曜日を開館日とし、観覧の需要に対応した（翌火曜日も開館した）。

5月1日、8月13日

### (3) 広報

① 展覧会毎にターゲットを明確化し、WEB解析による数値に基づいた広報展開と結果分析を実施することで、費用対効果の高い広報活動を展開した。

- 地域内映画館入場者に対する「刀剣ファン」向けの広報
- 刀剣ファン層向けの夜間を含む交流イベントの開催（2日間）
- 名古屋港水族館とのコラボレーション企画「鯀の尾ってどんな尾？」（第3回）開催
- 大須赤門商店街、徳川園とコラボした「カモン赤門 行くもん黒門」スタンプラリーの実施
- 愛知県・名古屋市が主催する各種プレスツアーへの対応
- 有楽町マルイでのミュージアム・ショップの出張販売

② 令和1年度のメディアによる取材は以下のとおりであった。

展覧会等	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌等
徳川将軍家縁の名刀	17	1	11
裂の美	6	0	17
合戦図	14	3	17
殿さまとやきもの	16	0	13
良寛さん・奏でる及び源氏物語絵巻特別展示	18	3	28
尾張徳川家の雛まつり	22	8	29
合計	93	15	115

③ 本年度の大型テレビ企画の取材は以下の通りであった（特別展・企画展等のニュース報道は随時）

- テレビ愛知「村正」
- テレビ朝日「ぶっちゃけ寺！」

- ・ 東海テレビ「祭人魂」シリーズ
- ・ NHK「歴史秘話ヒストリア」、「英雄たちの選択」、「イッピンスペシャル」
- ・ BS フジ「日本史の新常識」

④ 有料広告として以下の掲示・掲載を行った。

キラッ都ナゴヤ（毎月）、名古屋アートニュース（隔月）、大曽根駅南口看板（常設）、大曽根駅北口看板（常設）、電柱看板（常設）、映画「刀剣乱舞」上映館広告（東海圏）、映画「仮面ライダージオウ」上映館広告（東海圏）、アートスケープ 8月号、名古屋コンシェルジュバナー広告

(4) 営業

① 団体利用促進のための活動として以下を行った。

- ・ 旅行会社への働きかけ（関東、近畿、北陸、東海の大手旅行社・バス会社）
- ・ 教育旅行誘致活動（静岡の高校・教育旅行取扱の旅行会社への営業活動）
- ・ 名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- ・ 大学メンバーシップのルートを使用した展覧会等の情報提供

② 個人来館者利用促進のための活動として以下を行った。

- ・ 旅行会社への広報宣伝協力要請

各旅行会社の個人旅行向けパンフレットへの情報掲載（JTB、近畿日本ツーリスト、JR 東海）

- ・ 前売券の販売促進

百貨店友の会 3 店舗での販売（利用実績：913 枚）

チケットぴあ、ローソンチケット、プレチケでの前売券販売（利用実績：10,114 枚）

福利厚生クラブ（RELO CLUB）での入館券割引提携を開始

- ・ 近隣の地域・施設・組織との連携

近隣商店街との連携（近隣駅からの道路沿いの店舗でのポスター掲示）

JR・地下鉄のウォーキング・イベント実施時のちらしへの割引券掲載

- ・ 各種スタンプラリーの実施（外部団体と連携したものを含む）

新館第 1 展示室での「名刀セレクション」展示を対象とした名刀スタンプラリー（年間）

5 回以上の参加者計 470 名、全回参加者 232 名

名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施（4 月、9 月）

愛知県観光協会と産業観光スタンプラリーを実施（6 月）

愛知・岐阜広域観光推進協議会の「見にとりっぴ・戦とりっぴ」スタンプラリーを実施（7 月～2 月）

JAF とタイアップした武将観光スタンプラリー（7 月～9 月）

大須赤門商店街、徳川園とタイアップした「カモン赤門 行くもん黒門」スタンプラリー（8～9 月）

月刊なごやか「ミュージアムスタンプラリー」（年間）

名古屋市民ミュージアム栄「ミュージアムスタンプラリー」（11～9 月）

「文化のみち雛めぐりスタンプラリー」（2 月 8 日～3 月 8 日 参加者数計 4,942 名）

文化財名古屋保存活用実行委員会「名古屋市文化遺産活用プラン」の下で、文化のみち 6 施設と連携し、各施設で雛祭り関連企画を実施、パスポート 8,500 部配布。

愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」（2 月 2 日～3 月 8 日）

③ 閉館後・休館日等における時間外の利用誘致

夜間開館・休館日貸切開館の実施（利用実績：夜間 7 件 383 名）

（但し、新型コロナウイルスによる影響で、2～3 月に 3 件のキャンセルがあった。）

(5) ボランティアの会

① 会員数推移は以下のとおりであった。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度
会員数	324	356	320	285	293

公募ボランティアにより、展示室内監視業務および以下の解説業務に活動いただいた。

- ・ 平日の展示解説
- ・ 土曜日・日曜日・祝日の展示解説
- ・ 土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習又は団体学習
- ・ 申込み団体への解説

概要解説 63 件、2,014 名

体験講座（組香・貝あわせ）－日本の伝統文化にふれる－ 38 件、1,062 名

その他、学芸部業務支援として 1 名、特別専任ボランティアとして 19 名、講座等題字作成に 1 名、館内生け花に 1 名のボランティアに活動いただいた。

② 第 11 期ボランティアを募集した（37 名採用）

(6) 徳川美術館運営懇話会

9 月 25 日、徳川美術館貴賓室において、河村 たかし 氏（名古屋市長）、豊田 鐵郎 氏（(一社) 中部経済連合会会長）、山本 亜土 氏（名古屋商工会議所会頭）、小笠原 剛 氏（(株) 三菱東京 UFJ 銀行常任顧問）、勝野 哲 氏（中部電力（株）代表取締役）、三矢 誠 氏（トヨタ自動車（株）顧問）、徳川 義崇（(公財)徳川黎明会代表理事・徳川美術館館長）の出席下、第 28 回目として開催され、徳川美術館の展示実績、入館者数、展示計画が報告され、美術館運営についての質疑応答と意見交換が行われた。

(7) 徳川園各施設関係会議

1 月 23 日、徳川美術館会議室において、徳川美術館、徳川園、名古屋市蓬左文庫、宝善亭、ショップ 葵、ガーデンレストラン徳川園で構成する徳川園各施設による本会議が開催され、令和 1 年度事業進捗状況と令和 2 年度事業計画等について報告が行われるとともに、広報連携の在り方、災害対応等について意見交換が行われた。

(8) 他館・博物館との連携

私立美術館会議、日本博物館協会、愛知県博物館協会等の諸活動への参加

(9) 地域との連携

「文化遺産を活かした地域活性化事業」（名古屋市文化遺産活用実行委員会主催）への参加

(10) 施設・設備の保守点検・営繕

- ・ 館内施設・設備について、管理部室内およびミュージアムショップ店内の照明 LED 化、空調機自動制御機器取り替え、本館第 8・9 室仮設ケースの照明 LED 化等を実施した。
- ・ 庭園整備については敷地内と周辺民家に隣接する樹木の一部伐採等、また、茶室整備については茶会用の簡易通路の保全、山の茶屋水屋の改修を実施した。

(11) 国庫補助金による事業

前掲 1.(2)②a.に記載

(12) 民間助成金による事業

前掲 1.(2)②a.に記載

(13) 活動支援基金による事業

① 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川美術館の実施事業を対象にした募金活動を行った。なお、本年度は、寄附受付制度の利便性を高めることにより、寄附機会の増加を目指すべく、クレジットカード利用の実施に向け、さらに検討を行った。結果として、今年度は 13,476,188 円（法人 7 件（1,260,000 円）、個人 39 件（12,080,000 円）、募金箱 136,188 円）の寄附金を受領した。

② 寄附金の使途

活動支援基金事業として、前掲 1.(2)②a.の美術品の修復・補修に使用した。

③ 感謝状の贈呈

高額寄附者（個人 30 口以上、法人 10 口以上）に対し、感謝状を贈呈（個人会員 6 名、法人会員 0 社）。

## [公益事業 2] 研究所の調査・研究・教育・普及事業（徳川林政史研究所）

令和1年度、徳川林政史研究所では、昨年度に引き続き、所蔵史料である尾張徳川家文書の整理・研究・公開を進めるとともに、公益財団法人犬山城白帝文庫などに出張調査し、尾張藩関係史料を集積した。また、林政史アーカイブズ調査の一環で、岐阜県中津川市加子母地区の個人蔵の史料や弘前市立弘前図書館所蔵の林政史関係史料の整理・調査も推進し、江戸時代の森林管理に関する研究を進めた。尾張藩関係の成果では、『源敬様御代御記録 第四』（全四巻）を刊行し完結をみた。林政史関係の成果では、本年度より『林政史ブックレット尾張藩の林政と森林文化』の編集に着手し、加子母の林政史関係史料調査の研究成果として2冊発刊した。ブックレットは今後も刊行を継続する予定である。また、弘前市立弘前図書館所蔵の林政・林業関係史料103点を紙焼きで公開することができた。さらに、数年来取り組んできた若手研究者育成の成果として、非常勤研究員・研究生が教育普及活動に積極的にに関わり、研究成果を一般市民に公表した。なお、当研究所の活動に対して、260,000円の支援基金が寄せられ、これを活用して史料の補修を実施し、併せて新たに史料を購入した。年度末に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部事業の縮小を余儀なくされたが、所期の目的は達成し得たと考える。

### 1. 調査・研究

#### (1) 研究所における研究

- |  |                     |
|--|---------------------|
| ・ 近世材木商の研究（平成11年）                            | 竹内 誠（所長）            |
| ・ 名古屋城の構造と儀礼に関する研究（平成27年）                    | 深井 雅海（副所長）          |
| ・ 尾張藩幕末維新史の研究（平成24年）                         | 藤田 英昭（研究員）          |
| ・ 近世弘前藩の山林支配に関する研究（平成26年）                    | 萱場 真仁（研究員）          |
| ・ 近代山村史の研究（平成26年）                            | 加藤 衛弘（筑波大学教授・特任研究員） |
| ・ 尾張藩における美濃国山林支配に関する研究（平成30年）                | 田原 昇（非常勤研究員）        |
| ・ 近世木曾山地方における林業開発と<br>在郷村営農の変遷に関する史的研究（令和1年） | 大崎 晃（特任研究員）         |
| ・ 尾張藩祖徳川義直の研究（平成30年）                         | 川島 孝一（非常勤研究員）       |

#### (2) 徳川美術館との連携

古文書講座・江戸学講座へ講師派遣

他にも、特別展記念講演会に深井雅海（副所長）が出講した（演題「将軍と大名家との「刀剣贈答」」）。また、歴代当主の事績や年譜、尾張藩政に関する情報を共有するなど、徳川美術館学芸員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

#### (3) 研究成果の公開・公刊

##### ① 研究会の開催

- |  |       |
|--|-------|
| ・ 12月2日 徳川林政史研究所<br>濃州三浦山・三ヶ村御山守内木家の出自と御山守就任事情 | 田原 昇  |
| ・ 12月9日 徳川林政史研究所<br>加子母村の林産物と周辺地域              | 萱場 真仁 |
| ペリー来航をめぐる徳川慶勝の情報収集活動                           | 藤田 英昭 |

##### ② 『金鯨叢書』第47輯（『研究紀要』第54号）の公刊

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 材木豪商・奈良屋茂左衛門考証（上）             | 竹内 誠  |
| 三代将軍家光期における「奥」と「中奥」           | 深井 雅海 |
| 近世後期の林業・営農からみた山村の経済危機（下）      | 大崎 晃  |
| 近世後期における山村の地域議定               | 栗原 健一 |
| 徳川慶勝「諸品新聞書」に関する一考察<br>[研究ノート] | 藤田 英昭 |
| 内木家文書にみる加子母村の林産物生産            | 萱場 真仁 |

尾張藩付家老成瀬家家臣中野熊助の職務動向と由緒意識 滝口 正哉  
[史料紹介]

近代移行期における山村の開発と由緒 加藤 衛拓  
芳賀 和樹  
渡部 圭一

[活動報告] 令和1年度の調査・研究・普及活動

[所蔵史料目録] 徳川林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録(十六)  
徳川林政史研究所所蔵 犬山・中野熊助文書目録

③ 『金鯨叢書』第46輯(『研究紀要』第53号)寄贈・送付業務

印刷部数550冊(うち、寄贈・交換530冊)

(※『研究紀要』昭和46・47・49・52・54・57～62年度、23～25・28～48号、『金鯨叢書』42～46輯を各1冊ずつ寄贈)

④ 所蔵史料の編集・刊行

『源敬様御代御記録 第四』の編集・刊行

⑤ 史料調査の成果公開(ブックレットの刊行)

『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化1 御山守の仕事と森林コントロール』、『林政史ブックレット 尾張藩の林政と森林文化2 山村の人・家・つきあいー江戸時代の“かしも生活”①ー』の編集・刊行

(4) 「尾張徳川史」編纂準備

① 『源敬様御代御記録』『瑞龍公実紀』編纂・刊行のための研究会を開催(3回)

② 「昇禅院様(継友)御代・公辺御日記」(旧蓬左143-5)のデータベース作成作業を実施

③ 「事蹟録」(旧蓬左143-6)の筆耕・解読作業を実施

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

古写真史料の研究に資するため、引き続きガラス板古写真のデジタルデータ化を実施

(6) 史料調査

① 林政史アーカイブズ調査

・ 岐阜県中津川市加子母地域史料調査

6月7日～10日(第1回)

10月4日～7日(第2回)

・ 弘前市立弘前図書館所蔵史料調査

8月31日～9月2日

② 研究資料(複写・写真撮影資料を含む)の調査・収集

・ 国文学研究資料館所蔵史料調査

6月19日

・ 犬山城白帝文庫所蔵史料調査

6月30日

・ 名古屋市蓬左文庫所蔵史料調査

2月8日

③ 収集史料データの整理および公開

弘前市立弘前図書館所蔵史料の複製本公開(津軽家文書、八木橋文庫、岩見文庫などのうち北奥地域における林政関係史料計125冊)

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

① 名古屋市蓬左文庫

徳川林政史研究所所蔵史料の一部を紙焼き及びデジタルデータで提供し、名古屋市蓬左文庫での閲覧公開に協力した。

## ② 犬山城白帝文庫

犬山城白帝文庫と研究協力に関する覚書を取り交わし、調査・研究事業を遂行した。令和1年6月29日には、非常勤研究員が「犬山城白帝文庫講座 古文書に親しむ2」に出講し、講座の講師を担当した。また、犬山城白帝文庫編集図録『付家老のお仕事』に、非常勤研究員が調査・研究の成果論考を寄稿し、10月19日開催の犬山城・上廣歴史文化フォーラム「シンポジウム 付家老と尾張藩」のパネラーに研究員を派遣した。同日、深井雅海（副所長）の講演「江戸城の中の付家老」も実施した。

## ③ (公財)徳川記念財団

徳川林政史研究所では、受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料、約5,130点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された(公財)徳川記念財団が、調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。令和1年度は、(公財)徳川記念財団が実施した展示事業・閲覧など11件について協力した。

4月5日	「大猷院殿御実紀」ほか3点	展示事業
4月5日	「碁将棋上覧之留」ほか6点	展示事業
5月24日	「日記・因幡守手留」ほか61点	史料閲覧
6月7日	「衛門類例秘録」ほか61点	史料撮影
6月17日	「衛門類例秘録」ほか61点	史料撮影
6月18日	「大猷院殿御実紀」ほか112点	史料閲覧
8月9日	「御恭順一件 附諸届」1点	史料閲覧
9月2日	「大猷院殿御実紀」ほか112点	史料閲覧
12月17日	「常憲院殿御実紀」ほか180点	展示事業
1月24日	「雑記」ほか2点	史料閲覧
2月20日	「孝明天皇宸翰写」ほか27点	史料閲覧

## 2. 史料・図書の整理

### (1) 所蔵史料の整理

#### ① 尾張藩奥医師野間林庵関係文書の整理・目録の作成

総数339件のカード目録が完成した。

#### ② 旧蓬左文庫所蔵絵図の整理・目録の作成

再整理し、総数277件のうち、181件のカード目録を作成した。

#### ③ 旧名古屋税務監督局所蔵史料の整理・目録作成

総数3,312件のうち、3,155件の番号確定作業が終了した。

#### ④ 信濃国木曾史料の整理・目録の作成

総数約2,260件のうち計1,163件のカード目録を作成した。

#### ⑤ 尾張国各郡史料の目録の作成

尾張国海東郡佐屋村黒宮紋左衛門文書の目録を作成した（計15点）

尾張国海東郡関係文書の目録を作成した（計45点）

#### ⑥ 三河国額田郡小呂村文書の整理・目録の作成

全58件のうち57件のカード目録を作成した。

### (2) 所蔵史料の目録刊行

#### ① 尾張徳川家文書目録（十六）を『金鯪叢書』第47輯（『研究紀要』第54号）に収録刊行した。

#### ② 犬山・中野熊助文書目録を『金鯪叢書』第47輯（『研究紀要』第54号）に収録刊行した。

### (3) 所蔵史料データベースの構築および保存

#### ① 尾張徳川家文書のデータベース化

「尾 5」338 点のデータを入力した（見積総数\*9,096 点のうち計 7,917 点完了）。

- ② 石河家文書のデータベース化  
3,272 点のデータを入力した（総数 10,401 点のうち計 10,401 点完了）。
- ③ 信濃国筑摩郡王滝村松原家文書のデータベース化  
787 点のデータを入力した（総数 8,005 点のうち計 7,198 点完了）。
- ④ 尾張国海西郡関係文書のデータベース化  
総数 627 点のデータ入力終了した。

※ 見積総数

各史料群の点数は、整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により、新たに史料が確認されて、点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては、現時点で「見積総数」と表記している。

(4) 史料のデジタルデータ化

- ① 所蔵古写真（ガラス板）のデジタルデータ化（34 点 34 カット）
- ② 所蔵史料のデジタルデータ化
  - ・ 外部委託  
デジタル撮影「諸品新聞書」ほか、344 カット  
マイクロ撮影およびスキャニング「源敬公別伝」ほか、4,980 コマ
  - ・ 自館でのデジタルデータ化（デジタルマイクロリーダープリンター導入による）  
「山村家書状留」、「国秘録」、「人見私記」ほか、11,769 コマ
- ③ 調査収集史料写真のデジタルデータ化
  - 岐阜県中津川市加子母地域史料（デジタルデータ 6,195 コマ）
  - 弘前市立弘前図書館所蔵史料（デジタルデータ 3,389 コマ）
  - 国文学研究資料館所蔵史料（デジタルデータ 609 コマ）
  - 犬山城白帝文庫所蔵史料（デジタルデータ 4,159 コマ）
  - 名古屋市蓬左文庫所蔵史料（複写史料 5,059 枚）

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

- ① 購入
  - 「美濃郡代笠松役所覚留」2 冊
  - 「古今いろは寿」1 冊
  - 「尾張徳川家諸祝儀式に関する式方取調方手留ならびに小笠原家伝書」81 冊と 2 巻
- ② 補修
  - 綴じ紐劣化史料の紐綴じ直し補修 70 冊（「礼儀類典」他旧蓬左文庫所蔵史料）

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

(7) 研究用図書 of 整理

- ① 図書整理
  - 昨年度に引き続き、図書・雑誌のコンピューター入力を進め、新着図書 280 冊に対し、ラベル貼付並びに入力作業を行った。
- ② 図書の購入・受贈
  - 図書は『永青文庫叢書 細川家文書 島原・天草一揆編』等 109 冊を購入。その他寄贈された図書 171 冊。雑誌は『歴史学研究』等 150 冊を購入。その他寄贈された雑誌 310 冊。

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

- ① 徳川林政史研究所公開講座・豊島区教育委員会共催

9 月 5 日 弘前藩主と森林

萱場 真仁

9月12日	家康、太閤秀吉臣従一件	深井 雅海
9月19日	尾張藩祖・徳川義直の人となり	川島 孝一
9月26日	三ヶ条の誓詞と元和の武家諸法度	松尾 美恵子
10月10日	徳川家康と生きた女性たち	藤田 英昭
② 徳川美術館「徳川林政史研究所古文書入門講座」		
6月15日	化政文化と葛飾北斎	大石 学
6月22日	将軍家斉弟田安斉匡の戸山邸御成	深井 雅海
6月29日	幕府御用材をめぐる材木商の活動	萱場 真仁
7月7日	徳川斉朝の庭園世界	白根 孝胤
7月13日	尾張の名産とおつきあい(1)	藤田 英昭
7月20日	尾張の名産とおつきあい(2)	藤田 英昭
③ 徳川美術館「江戸学講座」		
12月7日	江戸城大奥の構造	深井 雅海
1月11日	大奥老女・姉小路の政治力	深井 雅海
1月25日	尾張徳川家の姫君	白根 孝胤
2月8日	知られざる天璋院篤姫	藤田 英昭
④ 徳川林政史研究所公開講座 かしもの歴史講演会		
10月4日	林産物をめぐる人・地域	萱場 真仁
10月4日	加子母村の農事暦	仲泉 剛
⑤ 上廣歴史文化フォーラム・(公財)上廣倫理財団共催		
9月22日	将軍直属の隠密・御庭番の情報活動	深井 雅海
9月22日	江戸の蘭学者とナポレオン情報	岩下 哲典
9月22日	尾張藩主・徳川慶勝の情報ネットワーク	藤田 英昭
⑥ 上廣歴史文化フォーラム・(公財)上廣倫理財団共催		
11月9日	千代姫にみる将軍姫君の婚姻	吉成 香澄
11月9日	徳川将軍家の乳母	高田 綾子
11月9日	旗本の妻・川路高子の生き方	渋谷 葉子
⑦ その他の講演		
・ 深井 雅海		
4月18日	元禄の政治 ～全4回	調布市日本史を学ぶ会
4月20日	徳川将軍直属の隠密・御庭番	野田地方史懇話会定期総会講演
4月21日	将軍と大名家との「刀剣贈答」	徳川美術館特別展記念講演会
6月1日	養子将軍の時代 ～全3回	学習院さくらアカデミー
7月13日	将軍と大名家との「刀剣贈答」	真田宝物館特別展記念講演
9月19日	正徳の治 ～全4回	調布市日本史を学ぶ会
10月17日	江戸城の構造とその仕組み	調布市日本史を学ぶ会公開講座
10月19日	江戸城の中の付家老	犬山城・上廣歴史文化フォーラム
10月26日	刀剣と格付け ～全3回	学習院さくらアカデミー
10月31日	旗本の勤めと生活	秋期えどはくカルチャー
2月20日	綱吉～家継時代の「奥」	調布市日本史を学ぶ会
3月19日	享保の改革	調布市日本史を学ぶ会

- ・ 藤田 英昭
  - 5月26日 高須松平家 江戸楽アカデミー
  - 6月14日 御本丸御奥方御絵図を読む 千葉県文書館歴史講演会
  - 8月25日 戸山公園を探究する 江戸楽アカデミー
  - 9月4日 幕末維新期の大奥と天璋院篤姫 武蔵野大学
  - 11月8日 尾張藩史料からみた「江戸無血開城」 東洋大学人間科学総合研究所  
シンポジウム
  - 12月15日 天璋院篤姫の新研究 明海大学オープンカレッジ
  - 2月1日 高橋泥舟～知られざるその足跡 上廣歴史・文化フォーラム

(2) 外部機関などとの連携

- ・ 7月18日 学習院大学「博物館実習」の受講生・教員
- ・ 9月13日 中京大学「卒業研究ゼミナール（近世史）」受講生・教員
- ・ 11月13日 東京大学大学院農学生命科学研究科「森林政策学演習」受講生・教員
- ・ 1月27日 聖心女子大学「資料整理実習」受講生・教員

(3) ホームページによる情報発信

徳川林政史研究所ホームページを更新し、『研究紀要』掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

(4) 出講・受嘱

① 出講

明海大学	日本の歴史（前期・後期）	藤田 英昭
学習院女子大学	学習院史（前期）	藤田 英昭

② 受嘱

勝海舟記念館（旧清明文庫）	資料収集評価委員会委員	藤田 英昭
---------------	-------------	-------

4. 若手研究者の育成

(1) 非常勤研究員・研究生による研究会の開催

夏季研究集会 7月26日 於（公財）上廣倫理財団三番町 UF ホール

研究者の心構えについて（研究不正防止講習）	深井 雅海
幕末維新期における帝鑑間譜代の動向	宮澤 歩美
寛文～宝暦の遊女評判記にみる吉原遊廓の客	高木 まどか
近世中・後期における北国街道上田宿の特質	竹内 竜馬
大正期奈良県吉野郡永田藤兵衛家の製材事業	芳賀 和樹
加子母村の農事暦	仲泉 剛
江戸時代の加子母村における林産物生産と御山守内木家	萱場 真仁
私の山村史研究の歩みと現在の取り組み(研究指導特別講話)	佐藤 孝之（特任研究員）

(2) 非常勤研究員・研究生による史料整理・目録作成作業

7月22日～8月2日	夏季集中史料整理（信濃国木曾史料）
2月25日～28日	春季集中史料整理（信濃国木曾史料）

(3) 非常勤研究員・研究生の名古屋研修の実施

7月12日～13日	研修先（愛知県公文書館・名古屋市蓬左文庫・徳川美術館） 参加者3名（令和1年度新規採用非常勤研究生）
-----------	---

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可数は36件、延べ閲覧者数は104人にのぼった。

(2) 所蔵史料の出陳

① 「特別展 土 サムライ」(東京都江戸東京博物館)

会期：令和1年9月14日～11月4日

出陳史料名：大御先鋒日之丸御備ほか3件(26点)

② 「特別展 治水・神祭・伊勢湾台風」(名古屋市博物館)

会期：令和1年9月21日～11月4日

出陳史料名：習斎先生治水考并治水條目ほか16件(38点)

③ 「特別展 付家老のお仕事」(犬山城白帝文庫)

会期：令和1年10月17日～11月19日

出陳史料名：源敬様御黒印之写6件(7点)

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

① 所蔵史料写真の貸出及び複写

受付総数計78件(林政史研究所直接受付65件、愛知県公文書館受付の紙焼き史料複写申請2件)

② 蓬左文庫受付の二次複写申請

受付総数計14件(DVDからの複写11件、紙焼き史料の複写3件)

(4) レファレンス対応

閲覧来所者及び電話でのレファレンスに対応した。

6. 補助金関係

(1) 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特定奨励費)

申請者：(公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

研究事業名：近世・近代の“森林管理システム”に関する調査・研究・普及事業

交付機関：(独)日本学術振興会\*

交付金額：10,400,000円

※平成26年度より特定奨励費の交付業務は文部科学省から(独)日本学術振興会へ移管されている。

(2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業

① 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)

研究種目：基盤研究(A)

研究課題名：高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究

交付機関：奈良国立博物館((独)日本学術振興会)

交付金額：150,000円

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

② 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)

研究種目：基盤研究(A)

研究課題名：近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究

交付機関：東京国立博物館((独)日本学術振興会)

交付金額：200,000円

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

③ 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)

研究種目：基盤研究(B)

研究課題名：江戸武家地の成熟過程に関する建築史・都市史的研究

交付機関：筑波大学((独)日本学術振興会)

交付金額：250,000円

研究分担者：徳川林政史研究所 非常勤研究員 渋谷 葉子

(3) その他の競争的資金及び民間助成金等

助成金名：(公財)上廣倫理財団教育・研究・活動助成金  
申請者：徳川林政史研究所 所長 竹内 誠  
事業名：歴史学研究の発展に貢献できる若手研究者の育成  
助成機関：(公財)上廣倫理財団  
交付金額：5,000,000 円

#### 7. 事業評価委員会の開催

令和 2 年 3 月 11 日、外部委員による事業評価委員会により、徳川林政史研究所が実施した令和 1 年度事業について評価・講評を受けた。(新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、紙面による評価となった)

#### 8. 資産の取得

- (1) 什器備品  
ノートパソコン 4 台
- (2) 図書  
購入 109 冊  
受贈 126 冊

#### 9. 設備管理

建物・設備の営繕工事等  
変圧器絶縁油取替  
3 階応接室配電盤交換(MCCB 取付)  
3 階屋外照明撤去・3 階図書室照明器具交換

#### 10. 活動支援基金

- (1) 寄附金受付業務  
前年度に引き続き、徳川林政史研究所の実施事業を対象にした募金活動を行った。本年度の実績は、以下のとおりである。  
寄附公募期間 平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日  
寄附結果 260,000 円 (法人 0 件 (0 口)、個人 15 件 (26 口))
- (2) 寄附金の使途  
史料購入 (前記 2.(5)①)「美濃郡代笠松役所覚留」ほか、計 3 件 (合計 84 冊と 2 巻)  
史料補修 (前記 2.(5)②) 綴じ紐劣化史料の紐綴じ直し補修 70 冊 (「礼儀類典」他旧蓬左文庫所蔵史料)

## II.収益目的事業

### [収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

#### 1. 不動産賃貸

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

### [収益事業 2] ミュージアムショップ・宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

#### 1. ミュージアムショップの運営

オンラインショップを拡充し、展示品をモチーフにしたオリジナル商品の開発に協力するとともに、新規取引業者を開拓するなどを行った結果、売上高対前年度比 153%となった。

[売上達成の主な要因]

- ・ 4～6月 前年同期比 337%：「徳川将軍ゆかりの名刀」展に合わせた、刀剣グッズ新商品の販売
- ・ 7・9月 前年同期比 138%：名刀展で販売した刀剣グッズのオンラインショップ販売
- ・ 1月 前年同期比 353%：11月東京マルイで販売した刀剣グッズ新商品のオンライン販売

#### 2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

展覧会のテーマに合わせたメニューの開発や、WEB サイト、SNS 等での広報に努めた結果、売上高対前年度比 114.7%を達成した。

## 事業報告の附属明細書

令和1年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。